

活気的な非定型帳票対応のOCRをご提供します

同じような項目が並びますが、とにかく種類が多い用紙があります

会員番号
35690188
利用額
38980
利用額
58980

会員番号	35690188
利用額	20000
利用額	15000

会員番号
35690188
利用額
132980

会員番号	35690188
利用額	4980
利用額	2500
利用額	5000

会員番号	35690188		
利用額	4980	108	39800
会員番号	21879963		
利用額	20160	380	
会員番号	55631177		
利用額	3100	690	1268
会員番号			
利用額			

会員番号	利用額	利用額
35690188	4980	5980
11467533	29800	
98751286	49610	5000

別々に定義してOCRをしても良いのですが、設定に時間を要します。又、別な形の物が突然現れることも有ります（例として右下が追加）でもこの6種類の用紙は形は異なりますが良く見ると読みたい項目は同じです（会員番号と利用額）。数と配置が異なっているだけです（活字と手書きが混在）。

ではこれらを一つの定義で読むにはどうすれば良いのか？

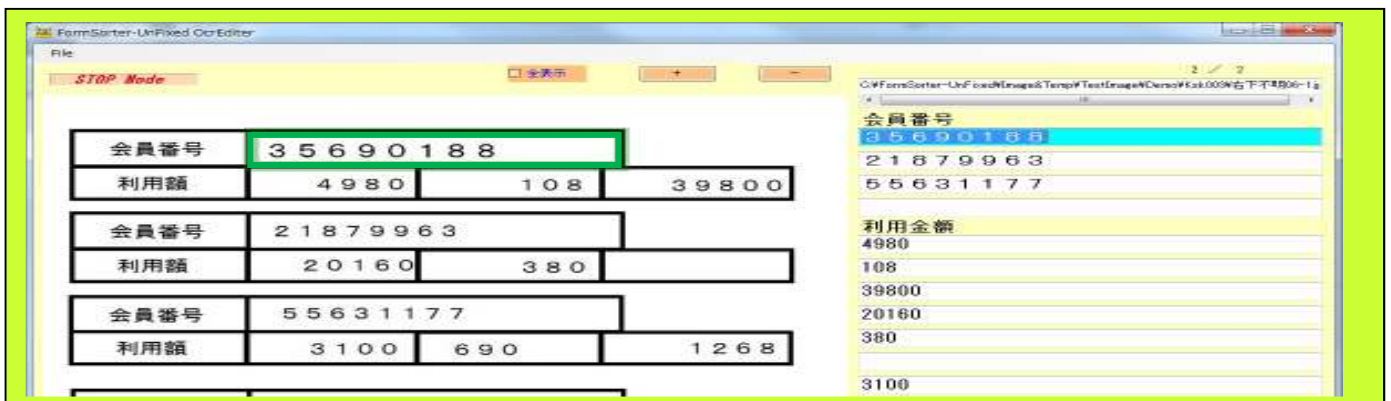
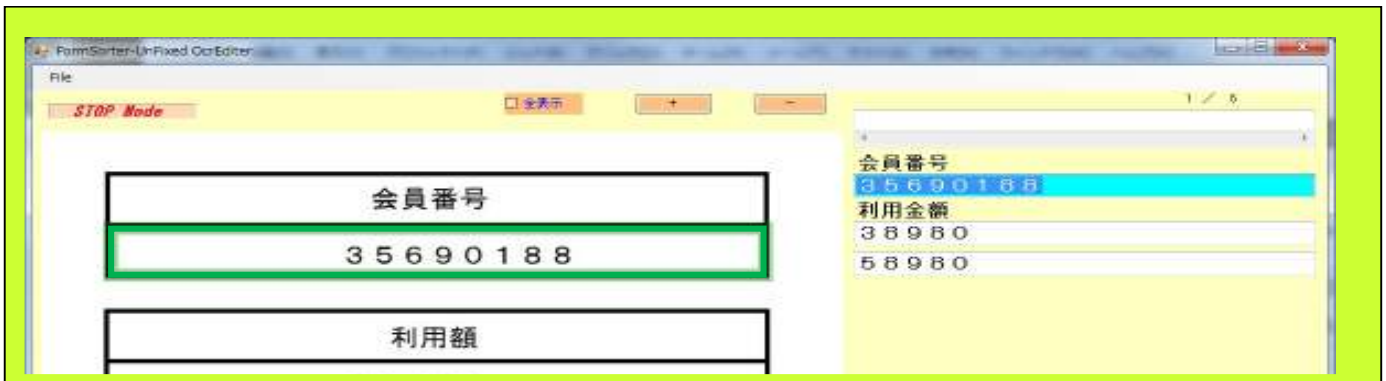
会員番号と利用額をキーワードとしてその下か右を読むように定義することにより全ての用紙を読むことが出来ます。

用紙の形が変わることによる定義の変更・追加が不要になります。

6種類用の紙をOCRするための定義はこれだけです



会員番号と利用額をキーワードにしてキーワードの**下**か**右**を認識するように定義します。
 上の定義で6種類の用紙をOCRした結果です(サンプルとして3種類)。



定義したキーワードの”下”又は”右”の位置にある文字を全て認識します

商品名 FormSorter-UnFixed カーネルシステムズ株式会社 03-3818-4681